

## 連続シリーズ

## 偕行会リハビリテーション病院 専門職について



## 回復期の作業療法 (Occupational therapist : OT) とは

病気やけがにより入院した患者さんに対して、その人なりの生活が再獲得できるように

- ①身の回りの動作訓練
- ②家事動作訓練
- ③手や腕の機能訓練
- ④高次脳機能訓練
- ⑤外出訓練

など行う専門職です。

## IVES (アイビス) の紹介

IVES とは、脳卒中などによる運動麻痺の回復を目的に開発された随意運動介助型電気刺激装置です。当院では今年の6月より導入しました。

運動麻痺になった手や腕に対して電気刺激を用いて筋収縮を促す目的で使っています。

心臓ペースメーカーや心疾患の既往がある方は禁忌となっているため、主治医に確認を取りながら行っています。



<IVES+ (アイビスプラス)>



<実際の訓練場面>

## 高次脳機能障害への取り組み

高次脳機能障害には記憶や注意、判断力の低下や失行、失認などがあり、これらにより身の回り動作や家事動作、仕事が以前のようにできなくなってしまうます。

患者さんが入院してきたら、作業療法士が高次脳機能障害の評価を行い、高次脳機能障害のうちのどの症状が患者さんに影響しているか判断しています。

高次脳機能障害のパンフレットには、それぞれの症状についての説明と対応方法について記載しており、患者さんに該当する項目についてパンフレットを用いて説明しています。



<高次脳機能障害パンフレット>

【作業療法課：課長 小坂 奈美佳】